



今月の記事

医療・介護の連携

近ごろの愛の園

ユニットケアの壺

リレーエッセイ

6～7月の予定



居宅・デイ管理者
崎山賢士

「医療と介護の情報を繋ぐ」

昨年末に愛の園入居者やそのご家族をはじめ利用者・関係者の方々に参加の同意をお願いしていました「田辺圏域 医療・介護連携ネットワーク」、通称「くろしお NET」は、皆様のご理解とご協力でもまなく稼働する予定です。

「くろしお NET」は田辺圏域の医療機関や介護事業所などをインターネット上のネットワークで結び、皆さんの診療・調剤・介護情報を共有するシステムです。この「皆さん」とは要介護認定者だけでなく、子供から高齢者まで田辺圏域に居住するすべての方のことを指します。

ここで注意が必要なことは、「くろしお NET」で皆さんの医療情報をやり取りする場合、「くろしお NET」とは別に、和歌山県内の医療機関が参加する「きのくに医療連携システム」、通称「青洲リンク」というシステムにつなげる必要があります。この「青洲リンク」についてはかかりつけの医療機関にお問い合わせください。

連携の一例として、愛の園に入居されている方が、急な病気で怪我で救急病院に搬送される場合を見てみましょう。愛の園に到着した救急隊が愛の園で対応した職員の情報に加えて「くろしお NET」を使って医療・介護情報を確認し迅速で適切な救急対応を行いながら搬送先を決定します。救急病院へ搬送された場合、救急隊の報告に加えて「くろしお NET」から愛の園診療所および調剤薬局の普段の医療情報など確認し必要な処置を行います。逆に愛の園では救急病院で行われている治療の内容を確認することができます。

「くろしお NET」の運用はとても複雑ですが、田辺圏域内外の方々から期待されているシステムですので、出来る限り実のある仕組みに育ってほしいと願っています。このシステムの運営に関わる者として今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



雛の巣立ちを促す2階ベランダの親ツバメと、雨に濡れたフェンス沿いのガクアジサイと。

近ごろの愛の園 あんなこと、こんなこと



お隣の野球場で行われるウエスタンリーグ。今年「阪神 vs 中日」でした。ジェット風船やスティックバルーンでスタンドから熱心に応援しました！ 5/12



岩田幼稚園のひかり組さんが花の日の礼拝に捧げた花束を届けてくれました。恒例の歌と握手のプレゼントは入居者の皆さんの大きな喜びです。 5/22



入居者・家族・職員総勢36名が40周年で賑やかな白浜アドベンチャーワールドへ。バスごと入場できるサファリパークでたくさんの動物に出会いました。特注のお弁当の後は人気のイルカショーへ。パンダの親子、シロクマ、フラミンゴなどを訪ねては記念撮影を。お土産をたくさん買って無事帰ってきました。 6/7



ユニットケアの壺 II (4) 「入居と自律」

特別養護老人ホームにユニット型施設が導入された時、面積や設備、人員配置などを国が定めた設置基準において、それまでの特養にはないユニット型特養独自の基準が設けられました。例えばユニット単位での介護職員の数やリビングルームの設置などがそうです。

これに併せて従来型の設置基準で使われていたふたつの言葉が変更になりました。それが「入居」と「自律」です。

入居は入所からの変更で、施設はそこに住む方々の居宅だという考えが明確になりました。介護を受けやすい場所に引っ越し、家賃や食費、介護に掛かる費用などを自分で負担して主体的に生活している姿が見えてきます。自分の好きなものや馴染のものを自由に持ち込んで

いただけます。ですから特別な理由がない限りずっと同じ居室を使っていただけます。

もうひとつは自立から自律への変更です。自立は自分でできること、自律は自分で決められることを意味します。子どもが成長する中で自分ができるが増えること、親元を離れて自活することも自立でありとても大切なことですが、日常的な介護を必要とする方々にとっては、自分の生活の仕方を自分で決められることが重要だとの考えです。一斉に行う日課やルールに縛られず、自分のやりたいことは自分で決めて、そのための移動が自分でできなければ介助者が手伝うことで実現できる。ユニット型施設ではそうした暮らし方ができる施設となるよう心掛けています。



リレーエッセイ(67) 「リフレッシュタイム」

ユニットリーダー
橋本 通代

先日、一泊二日で京都へ行って来ました。観光で京都へ行ったのは30年ぶりでした。その時は嵐山でしたが今回は祇園を中心に建仁寺、花見小路通、哲学の道、長楽館、八坂神社を巡りました。

京都最古の禅寺である建仁寺の枯山水を少しの時間ですがボーっと眺めながら無心になっていました。無心になることで自分の心が乱れている事、穏やかでない事に気付かされました。忙しくても多少無理をしても無心になる時間を作ろうと思いました。花見小路通を歩いていると外国人ばかりで、この中に日本人はいるのかと思うぐらいです。夜、花見小路通のお店で食事をしました。その店も外国人ばかりで店員は英語で接客していて、私もあんなに英語で話が出来たらいいなと思いました。

二日目に長楽館に行きました。長楽館は明

治42年に賓客をもてなすための迎賓館として建築されました。そこにあるフレンチレストランでランチをする予定でしたが残念ながら定休日でカフェでのランチとなりました。ゆったりと食事ができ館内はとても綺麗でスタッフにお願いして写真を撮らせてもらいました。

あつという間の京都でしたがまた行ってみたいと思いました。私にとってのリフレッシュタイム、今回は旅行でしたが次回のリフレッシュタイムも現在計画中です。数年前、息子が学生の頃「そろそろ趣味を見つけた方が良いよ。」と言われました。子供なりに親の老後を気にしてくれているのかなと思いました。息子の一言がきっかけで楽しみも見つけ時間を作ってリフレッシュしています。息子に感謝です。

今回は4ユニットリーダーの濱口友喜さんをお願いします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56
TEL (0739)47-1234
FAX (0739)47-4329
Email ainosono@shinai.or.jp

Facebookもチェック 
<https://www.facebook.com/shinaikai>

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

6～7月の愛の園

- 10(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 11(月) ヨガ教室
- 12(火) マリア会
- 14(木) やまびこ会
- 17(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 18(月) ヨガ教室 マッサージ
- 21(木) やまびこ会
- 24(日) 礼拝(聖霊降臨日聖餐式)
- 25(月) ヨガ教室
- 26(火) マリア会
- 27(水) 歯科診療
- 28(木) やまびこ会

- 1(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 2(月) ヨガ教室
- 5(木) やまびこ会
- 8(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 9(月) ヨガ教室

編集者から

これを書いた日に紀南の梅入りが発表されました。「ばいう」は「微雨」と書くことがあるようですが、蒸し暑さを迎えての健康管理とともに、食中毒への備えも必要となります。ご家族から入居者の皆さんへ食品をお届けくださる場合は、1回で食べきれぬ量としてくださいますようお願いいたします。

一面に写真を掲載しましたが、ツバメの巣立ちや次々と咲く季節の花々が足早な季節の移ろいを感じさせてくれます。野球場との境のフェンス沿いにもいろいろな種類の花が咲き、ビワが実をつけています。来園されても事務所などに立ち寄らず、黙々と草取りをしてくださるボランティアの方々のお蔭です。ご奉仕に心より感謝申し上げます。(A)